

目次

登録販売者試験の概要	xiv
登録販売者試験の攻略法	xv
凡例	xvii

第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識

1-I 医薬品概論	1
1) 医薬品の本質	1
2) 医薬品のリスク評価	3
3) 健康食品	5
1-II 医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因	6
1) 副作用	6
2) 不適正な使用と有害事象	10
3) 他の医薬品や食品との相互作用、飲み合わせ	12
4) 小児、高齢者等への配慮	15
(a) 小児	15
(b) 高齢者	17
(c) 妊婦又は妊娠していると思われる女性	18
(d) 母乳を与える女性(授乳婦)	19
(e) 医療機関で治療を受けている人等	19
5) プラセボ効果	20
6) 医薬品の品質	21
1-III 適切な医薬品選択と受診勧奨	22
1) 一般用医薬品で対処可能な症状等の範囲	22
2) 販売時のコミュニケーション	24
1-IV 薬害の歴史	26
1) 医薬品による副作用等に対する基本的考え方	26
2) 医薬品による副作用等にかかる主な訴訟	26

第2章 人体の働きと医薬品

2-1 人体の構造と働き	33
1 胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官	34
1) 消化器系	34
(a) 口腔	35
(b) 咽頭、食道	37
(c) 胃	38
(d) 小腸	39

(e) 脾臓	40
(f) 胆嚢、肝臓	41
(g) 大腸	43
(h) 肛門	44
2) 呼吸器系	45
3) 循環器系	48
4) 泌尿器系	57
2 目、鼻、耳などの感覚器官	62
3 皮膚、骨・関節、筋肉などの運動器官	69
4 脳や神経系の働き	74
2-II 薬が働く仕組み	77
1) 薬の生体内運命	78
2) 薬の体内での働き	82
3) 剤形ごとの違い、適切な使用方法	83
2-III 症状からみた主な副作用	86
1 全身的に現れる副作用	87
2 精神神経系に現れる副作用	91
3 体の局所に現れる副作用	93
1) 消化器系に現れる副作用	93
2) 呼吸器系に現れる副作用	95
3) 循環器系に現れる副作用	96
4) 泌尿器系に現れる副作用	98
5) 感覚器系に現れる副作用	99
6) 皮膚に現れる副作用	100
第3章 主な医薬品とその作用	
3-I 精神神経に作用する薬	103
1 かぜ薬	103
1) かぜの諸症状、かぜ薬の働き	103
2) 主な配合成分等	105
(a) 発熱を鎮め、痛みを和らげる成分(解熱鎮痛成分)	105
(b) くしゃみや鼻汁を抑える成分(抗ヒスタミン成分、抗コリン成分)	107
(c) 鼻粘膜の充血を和らげ、気管・気管支を拡げる成分(アドレナリン作動成分)	108
(d) 咳を抑える成分(鎮咳成分)	109
(e) 痰の切れを良くする成分(去痰成分)	110
(f) 炎症による腫れを和らげる成分(抗炎症成分)	111
(g) 漢方処方成分等	115
(h) 鎮静成分	119
(i) 胃酸を中和する成分(制酸成分)	119

	(j) カフェイン類	120
	(k) その他：ビタミン成分等	120
3)	主な副作用、相互作用、受診勧奨	121
2	解熱鎮痛薬	124
	1) 痛みや発熱が起こる仕組み、解熱鎮痛薬の働き	124
	2) 代表的な配合成分等、主な副作用	126
	(a) 解熱鎮痛成分	126
	(b) 鎮静成分	134
	(c) 胃酸を中和する成分(制酸成分)	134
	(d) 骨格筋の緊張を鎮める成分	134
	(e) カフェイン類	135
	(f) ビタミン成分	135
	● 漢方処方製剤	136
	3) 相互作用、受診勧奨	138
3	眠気を促す薬	141
	1) 代表的な配合成分等、主な副作用	141
	(a) 抗ヒスタミン成分	141
	(b) プロモバレリル尿素、ア Rilイソプロピルアセチル尿素	143
	(c) 生薬成分	144
	● 漢方処方製剤	145
	2) 相互作用、受診勧奨等	147
4	眠気を防ぐ薬	149
	1) カフェインの働き、主な副作用	149
	2) 相互作用、休養の勧奨等	151
5	鎮暈薬(乗物酔い防止薬)	153
	1) 代表的な配合成分、主な副作用	153
	(a) 抗めまい成分	153
	(b) 抗ヒスタミン成分	154
	(c) 抗コリン成分	155
	(d) 鎮静成分	156
	(e) 中枢神経系を興奮させる成分(キサントシン系成分)	156
	(f) 局所麻酔成分	157
	(g) その他	157
	2) 相互作用、受診勧奨等	158
6	小児の疳を適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤(小児鎮静薬)	159
	1) 代表的な配合生薬等、主な副作用	160
	● 漢方処方製剤	162
	2) 受診勧奨	163
3-II	呼吸器官に作用する薬	164
1	咳止め・痰を出しやすくする薬(鎮咳去痰薬)	164
	1) 咳や痰が生じる仕組み、鎮咳去痰薬の働き	164
	2) 代表的な配合成分等、主な副作用	165

(a)	中枢神経系に作用して咳を抑える成分(鎮咳成分)	165
(b)	気管支を拡げる成分(気管支拡張成分)	167
(c)	痰の切れを良くする成分(去痰成分)	169
(d)	炎症を和らげる成分(抗炎症成分)	169
(e)	抗ヒスタミン成分	171
(f)	殺菌消毒成分	171
(g)	生薬成分	171
●	漢方処方製剤	173
3)	相互作用、受診勧奨	175
2	口腔咽喉薬、うがい薬(含嗽薬)	177
1)	代表的な配合成分等、主な副作用	179
●	漢方処方製剤	183
2)	相互作用、受診勧奨	184
3-III	胃腸に作用する薬	185
1	胃の薬(制酸薬、健胃薬、消化薬)	185
1)	胃の不調、薬が症状を抑える仕組み	185
2)	代表的な配合成分等、主な副作用、相互作用、受診勧奨	186
(a)	制酸成分	186
(b)	健胃成分	188
(c)	消化成分	190
(d)	その他の成分	191
●	漢方処方製剤	194
2	腸の薬(整腸薬、止瀉薬、瀉下薬)	196
1)	腸の不調、薬が症状を抑える仕組み	196
2)	代表的な配合成分等、主な副作用	197
(a)	整腸成分	197
(b)	止瀉成分	198
(c)	瀉下成分	203
●	漢方処方製剤	208
3)	相互作用、受診勧奨	210
3	胃腸鎮痛鎮痙薬	212
1)	代表的な鎮痙成分、症状を抑える仕組み、主な副作用	212
(a)	抗コリン成分	212
(b)	パパペリン塩酸塩	215
(c)	局所麻酔成分	216
(d)	生薬成分	216
2)	相互作用、受診勧奨	217
4	その他の消化器官用薬	219
1)	浣腸薬	219
2)	駆虫薬	222
3-IV	心臓などの器官や血液に作用する薬	225
1	強心薬	225

1)	動悸、息切れ等を生じる原因と強心薬の働き	225
2)	代表的な配合成分等、主な副作用	226
	(a) 強心成分	226
	(b) 強心成分以外の配合成分	227
	● 漢方処方製剤	228
3)	相互作用、受診勧奨	229
2	高コレステロール改善薬	230
1)	血中コレステロールと高コレステロール改善成分の働き	230
2)	代表的な配合成分、主な副作用	231
3)	生活習慣改善へのアドバイス、受診勧奨等	233
3	貧血用薬(鉄製剤)	234
1)	貧血症状と鉄製剤の働き	234
2)	代表的な配合成分、主な副作用	235
3)	相互作用、受診勧奨等	236
4	その他の循環器用薬	237
1)	代表的な配合成分等、主な副作用	237
2)	相互作用、受診勧奨等	239
3-V	排泄に関わる部位に作用する薬	240
1	痔の薬	240
1)	痔の発症と対処、痔疾用薬の働き	240
2)	代表的な配合成分等、主な副作用	241
	● 外用痔疾用薬	241
	(a) 局所麻酔成分	241
	(b) 鎮痒成分	242
	(c) 抗炎症成分	243
	(d) 組織修復成分	244
	(e) 止血成分	244
	(f) 殺菌消毒成分	245
	(g) 生薬成分	245
	(h) その他：ビタミン成分	245
	● 内用痔疾用薬	246
	(a) 生薬成分	246
	(b) 抗炎症成分	247
	(c) 止血成分	247
	(d) その他：ビタミン成分	247
	● 漢方処方製剤	248
3)	相互作用、受診勧奨	249
2	その他の泌尿器用薬	250
1)	代表的な配合成分等、主な副作用	250
	● 漢方処方製剤	251
2)	受診勧奨	252
3-VI	婦人薬	253

1) 適用対象となる体質・症状	253
2) 代表的な配合成分等、主な副作用	254
● 漢方処方製剤	257
3) 相互作用、受診勧奨	260
3-VII 内服アレルギー用薬(鼻炎用内服薬を含む)	261
1) アレルギーの症状、薬が症状を抑える仕組み	261
2) 代表的な配合成分等、主な副作用	263
(a) 抗ヒスタミン成分	263
(b) 抗炎症成分	265
(c) アドレナリン作動成分	265
(d) 抗コリン成分	267
(e) ビタミン成分	267
(f) 生薬成分	267
● 漢方処方製剤	268
3) 相互作用、受診勧奨	270
3-VIII 鼻に用いる薬	272
1) 代表的な配合成分、主な副作用	273
(a) アドレナリン作動成分	273
(b) 抗ヒスタミン成分	274
(c) ヒスタミンの遊離を抑える成分(抗アレルギー成分)	274
(d) 局所麻酔成分	275
(e) 殺菌消毒成分	275
(f) 抗炎症成分	275
2) 相互作用、受診勧奨	276
3-IX 眼科用薬	278
1) 目の調節機能を改善する配合成分	281
2) 目の充血、炎症を抑える配合成分	281
(a) アドレナリン作動成分	281
(b) 抗炎症成分	282
(c) 組織修復成分	282
(d) 収斂成分	282
3) 目の乾きを改善する配合成分	283
4) 目の痒みを抑える配合成分	283
(a) 抗ヒスタミン成分	283
(b) 抗アレルギー成分	284
5) 抗菌作用を有する配合成分	284
6) その他の配合成分(無機塩類、ビタミン類、アミノ酸)と配合目的	285
3-X 皮膚に用いる薬	286
1) きず口等の殺菌消毒成分	288
2) 痒み、腫れ、痛み等を抑える配合成分	293
(a) ステロイド性抗炎症成分	293

	(b) 非ステロイド性抗炎症成分	294
	(c) その他の抗炎症成分	298
	(d) 局所麻酔成分	298
	(e) 抗ヒスタミン成分	298
	(f) 局所刺激成分	299
	(g) 収斂・皮膚保護成分	299
	(h) 組織修復成分	300
	(i) 血管収縮成分	300
	(j) 血行促進成分	300
	● 漢方処方製剤等	301
	3) 肌の角質化、かさつき等を改善する配合成分	303
	4) 抗菌作用を有する配合成分	304
	5) 抗真菌作用を有する配合成分	306
	6) 頭皮・毛根に作用する配合成分	310
3-XI	歯や口中に用いる薬	312
1	歯痛・歯槽膿漏薬	312
	1) 代表的な配合成分、主な副作用	312
	● 歯痛薬(外用)	312
	(a) 局所麻酔成分、冷感刺激成分	312
	(b) 殺菌消毒成分	312
	(c) 生薬成分	312
	● 歯槽膿漏薬	313
	(a) 外用薬	313
	(b) 内服薬	315
	2) 相互作用、受診勧奨	316
2	口内炎用薬	317
	1) 代表的な配合成分、主な副作用	317
	● 漢方処方製剤(内服)	318
	2) 相互作用、受診勧奨	319
3-XII	禁煙補助剤	320
	1) 喫煙習慣とニコチンに関する基礎知識	320
	2) 主な副作用、相互作用、禁煙達成へのアドバイス・受診勧奨	321
3-XIII	滋養強壮保健薬	323
	1) 医薬品として扱われる保健薬	323
	2) ビタミン、カルシウム、アミノ酸等の働き、主な副作用	324
	3) 代表的な配合生薬等、主な副作用	329
	● 生薬成分	329
	● 漢方処方製剤	331
	4) 相互作用、受診勧奨	332
3-XIV	漢方処方製剤・生薬製剤	335
1	漢方処方製剤	335

1) 漢方の特徴・漢方薬使用における基本的な考え方	335
2) 代表的な漢方処方製剤、適用となる症状・体質、主な副作用	337
3) 相互作用、受診勧奨	339
2 その他の生薬製剤	340
1) 代表的な生薬成分、主な副作用	340
2) 相互作用、受診勧奨	343
3-XV 公衆衛生用薬	344
1 消毒薬	344
1) 感染症の防止と消毒薬	344
2) 代表的な殺菌消毒成分、取扱い上の注意等	345
2 殺虫剤・忌避剤	348
1) 衛生害虫の種類と防除	349
2) 代表的な配合成分・用法、誤用・事故等への対処	354
● 主な剤形、用法	356
3-XVI 一般用検査薬	358
1 一般用検査薬とは	358
2 尿糖・尿タンパク検査薬	359
1) 尿中の糖・タンパク値に異常を生じる要因	359
2) 検査結果に影響を与える要因、検査結果の判断、受診勧奨	360
3 妊娠検査薬	361
1) 妊娠の早期発見の意義	361
2) 検査結果に影響を与える要因、検査結果の判断、受診勧奨	361
第4章 薬事関係の法規・制度	
4-I 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の目的等	365
【登録販売者】	366
4-II 医薬品の分類・取扱い等	368
1) 医薬品の定義と範囲	368
【一般用医薬品、要指導医薬品と医療用医薬品】	373
【毒薬・劇薬】	377
【生物由来製品】	380
【一般用医薬品のリスク区分】	381
2) 容器・外箱等への記載事項、添付文書等への記載事項	385
3) 医薬部外品、化粧品、保健機能食品等	389
【医薬部外品】	389
【化粧品】	391
【保健機能食品等の食品】	393
4-III 医薬品の販売業の許可	398
1) 許可の種類と許可行為の範囲	398

(a) 薬局	400	
【薬剤師不在時間等】	403	
(b) 店舗販売業	405	
(c) 配置販売業	408	
2) リスク区分に応じた販売従事者、情報提供及び陳列等	412	
【リスク区分に応じた販売従事者等】	412	
【リスク区分に応じた情報提供】	415	
【リスク区分に応じた陳列等】	421	
【薬局又は店舗における掲示】	423	
【特定販売】	425	
【医薬品の購入等に関する記録等】	427	
【その他の遵守事項等】	430	
4-IV 医薬品販売に関する法令遵守		432
1) 適正な販売広告	432	
【医薬品等適正広告基準】	434	
2) 適正な販売方法	436	
3) 行政庁の監視指導、苦情相談窓口	437	
別表 4-1 医薬部外品の効能効果の範囲	435	
別表 4-2 化粧品の効能効果の範囲	448	
別表 4-3 特定保健用食品：これまでに認められている主な特定の保健の用途	449	
別表 4-4 栄養機能食品：栄養機能表示と注意喚起表示	450	

第5章 医薬品の適正使用・安全対策

5-I 医薬品の適正使用情報		451
1) 添付文書の読み方	452	
① 改訂年月	452	
② 添付文書の必読及び保管に関する事項	452	
③ 販売名、薬効名及びリスク区分	453	
④ 製品の特徴	453	
⑤ 使用上の注意	453	
○ してはいけないこと	454	
○ 相談すること	457	
○ その他の注意	462	
⑥ 効能又は効果(一般用検査薬では「使用目的」)	463	
⑦ 用法及び用量(一般用検査薬では「使用方法」)	463	
⑧ 成分及び分量(一般用検査薬では「キットの内容及び成分・分量」)	464	
⑨ 病気の予防・症状の改善につながる事項(いわゆる「養生訓」)	464	
⑩ 保管及び取扱い上の注意	465	
⑪ 消費者相談窓口	466	
⑫ 製造販売業者の名称及び所在地	466	

2) 製品表示の読み方	467
3) 安全性情報など、その他の情報	470
4) 購入者等に対する情報提供への活用	473
5-II 医薬品の安全対策	475
1 医薬品の副作用情報等の収集、評価及び措置	475
1) 副作用情報等の収集	476
2) 副作用情報等の評価及び措置	479
2 医薬品による副作用等が疑われる場合の報告の仕方	479
5-III 医薬品の副作用等による健康被害の救済	481
1) 医薬品副作用被害救済制度	481
2) 医薬品副作用被害救済制度等への案内、窓口紹介	482
5-IV 一般用医薬品に関する主な安全対策	485
5-V 医薬品の適正使用のための啓発活動	488
別表 5-1 主な使用上の注意の記載とその対象成分・薬効群等「してはいけないこと」	489
別表 5-2 主な使用上の注意の記載とその対象成分・薬効群等「相談すること」	495
別表 5-3 「医薬品・医療機器等安全性情報」：一般用医薬品に関連する主な記事	500
別表 5-4 企業からの副作用等の報告	502
別表 5-5 医薬品安全性情報報告書	503
(参考) 主な情報入手先、受付窓口等	505
索引	507

別冊

要点整理

- 第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識 2
- 第2章 人体の働きと医薬品 4
- 第3章 主な医薬品とその作用 9
- 第4章 薬事関係の法規・制度 25
- 第5章 医薬品の適正使用・安全対策 40

漢方処方製剤、生薬成分、有効成分

- 漢方処方製剤のまとめ 46
- 生薬成分のまとめ 50
- 有効成分のまとめ 55